

* 参考資料 2

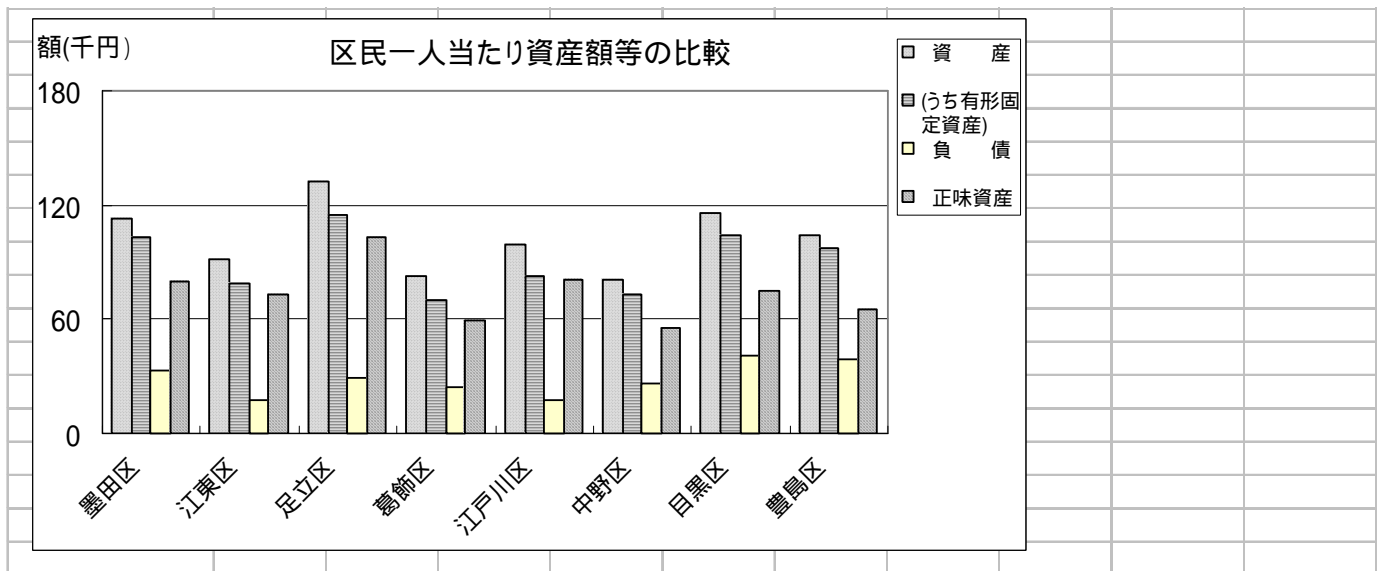
平成 13 年度末の普通会計バランスシート及び行政コスト計算書に基づき、総務省方式で作成した他区と比較してみます。

【バランスシートの他区比較】

1 区民一人当たりバランスシートの比較

区民一人当たりで、どの程度の社会資本等の蓄積をもっているかがわかります。区民一人当たりの資産総額が他区に比較して大きければ、公共施設等が充実していると言えます。

単純比較では、本区の資産額が他区の平均水準(100,100 円)を上回っているのに、負債額は平均より高くなっています。また、正味資産も平均(73,000 円)以上となっています。

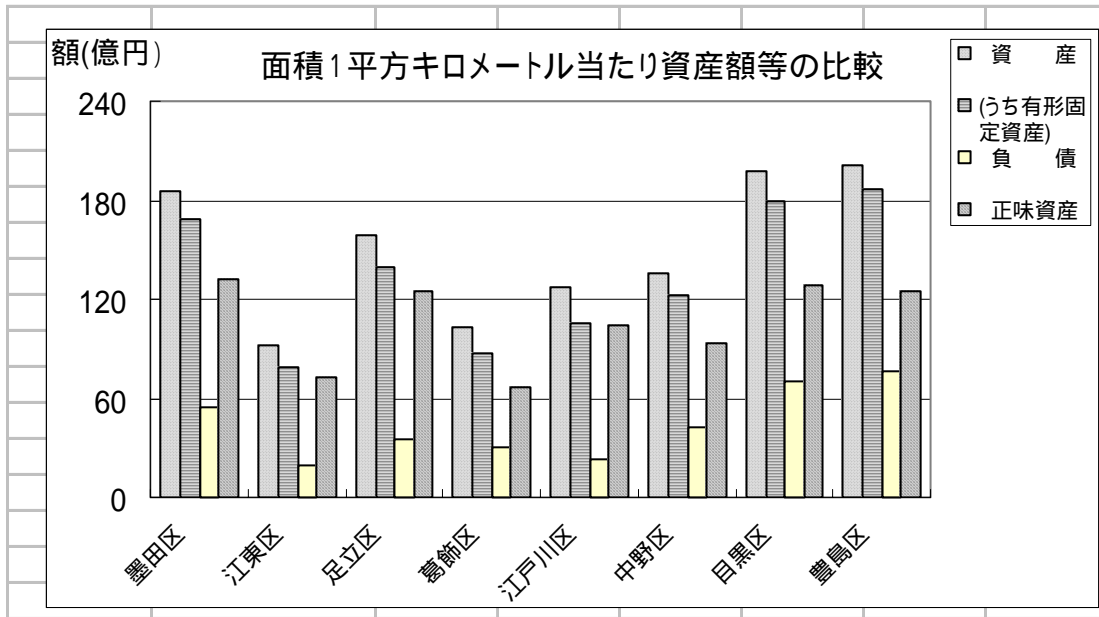


2 面積(1km²)当たりバランスシートの比較

面積1km²当たりで、どの程度の社会資本等の蓄積をもっているかがわかります。面積当たりの資産額が他区に比較して大きければ、投資の密度が高い区と言えます。

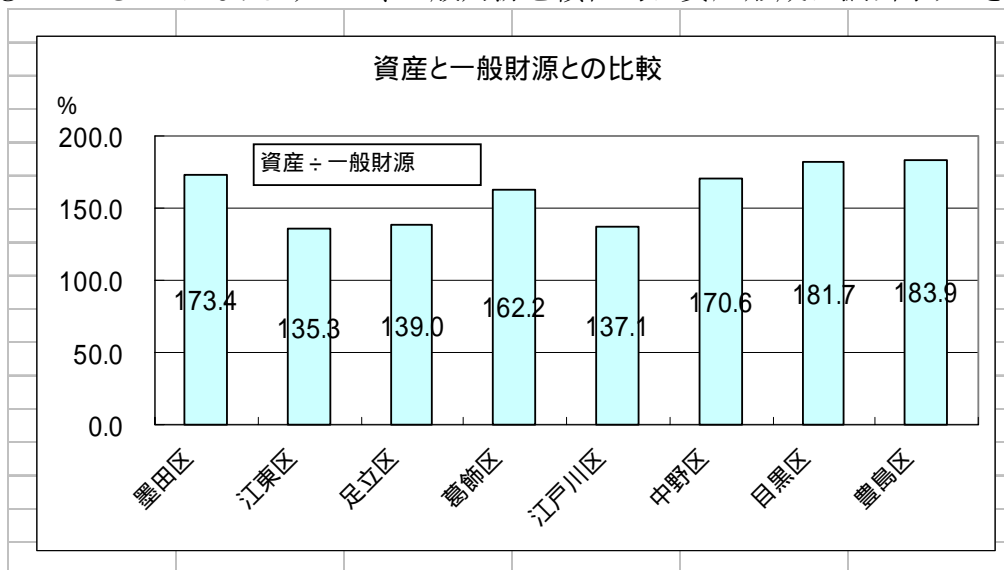
本区の資産額は、他区の平均(143,500 円)より3割程度大きくなっています。

一方、負債額及び正味資産額も他区平均(負債 43,000 円、正味資産 102,000 円)より3割程度多くなっています。



3 資産と一般財源との比較

資産額の一般財源比率から、財政規模に比して、どの程度の資産形成を行ってきたかがわかります。資産額の一般財源比率が、他区に比較して大きければ、財政規模に比して大きな資産をもっていることになりますので、一般財源を積極的に資産形成に振り向けてきたと言えます。



本区資産額の一般財源比率は、比較を行った区の中なかでは3番目で他区平均(159%)より9%程度高い状況です。

本区の資産額は区民一人当たり・面積(1km²)当たりともに、他区平均を上回っています。これらのことから、地域に十分な投資が行われていると言えますが、今後は投資に見合った効果(例:区民施設の利用率向上)を上げていくことが重要です。